

「海洋都市横浜うみ博2019」開催！ ～～海の魅力、大切さを子どもたちへ伝えよう！～～

横浜市では、「開港都市」とともに「海洋都市」を掲げ、海洋に関する企業・団体に構成する「海洋都市横浜うみ協議会(※裏面参照)」を中心に、都市の新たな魅力づくりを進めています。

この一環で、将来を担う子どもたちをはじめ、多くの市民の皆様へ「海」の多様な魅力を発信する「海洋都市横浜うみ博2019」を7月20日(土)・21日(日)の2日間にわたって開催します。

4回目となる今回は、昨年も好評いただいた、約7,000台の自動車を積載可能な巨大な自動車専用船など、普段見ることができない3種類の船の見学会や、海について楽しく学べるワークショップ、生き物に触れられるブース展示等、海の魅力を体感できる企画が満載です。

また、新たにSDGs(持続可能な開発目標)の観点(ゴール14「海の豊かさを守ろう」等)から、「うみ協議会」の海に関する豊富な知見・ノウハウを活かして、海の大切さなどを発信していきます。

様々な海の魅力を見て、触れて、感じられるイベントです。ぜひお楽しみください。

1 開催概要 ※詳細は添付のリーフレット参照

(1) 名称

海洋都市横浜うみ博2019

～見て、触れて、感じる 海と日本 PROJECT～

(2) 開催日時

令和元年7月20日(土)・21日(日) 10時～17時

(3) 会場

大さん橋ホール(大さん橋国際客船ターミナル内)

(4) 主催

海洋都市横浜うみ協議会(詳細は裏面)

※特別協力：日本財団

2 構成プログラム

(1) 船舶の一般公開・乗船体験

普段入ることができない、自動車専用船等の様々な船を見学できる貴重な見学・乗船ツアー

(2) ステージプログラム・ワークコーナー

ペンギンショーやワークショップ、巨大絵画制作等、体験型のプログラムが充実

(3) 展示ブース

海の様々な魅力を楽しく学べるブース展示等



※海洋都市横浜うみ博は日本財団「海と日本 PROJECT」の一環で実施しています

プログラム例



自動車専用船見学会(7/21)
事前申込制・定員1,000名



例年人気のペンギンショー等
ステージプログラム



「海」をテーマにした
巨大な絵画制作コーナー



多様な海の世界を体感できる
ブース展示

■SDGs(持続可能な開発目標)に関する取組

・うみ博では、ゴール14「海の豊かさを守ろう」に向けた啓発など、SDGsの推進に取り組みます。

《コンテンツ例》

海の清掃船(船内見学やごみの展示)や、海の研究機関による、海洋汚染の海への影響などの本格的な啓発活動



※実物の清掃船の船内見学と、海で回収したプラごみの展示での啓発



3 海洋都市横浜うみ協議会の概要

設立日：平成27年9月28日

名誉会長・会長 名誉会長：林 文子 横浜市長
会長：小林 一美 横浜市副市長

設立目的：協議会参加企業・団体の皆様と議論しながら、産官学連携により、次の取組を進めます。
ア 海洋に関する活動の総合的な情報発信 イ 市民の海に関する理解・関心の向上
ウ 海洋環境の保全 エ 海洋産業の振興

協議会参加企業・団体（順不同）：【33団体】

（国研）海洋研究開発機構（JAMSTEC）、（国研）水産研究・教育機構、
（国研）海上・港湾・航空技術研究所（海上技術安全研究所、港湾空港技術研究所）、
（独）海技教育機構、（公財）帆船日本丸記念財団、
横浜国立大学、東京海洋大学、横浜市立大学、神奈川大学、東京大学生産技術研究所、
（一財）エンジニアリング協会、（一社）海洋産業研究会、（一社）日本船用工業会、
（一社）日本プロジェクト産業協議会（JAPIC）、（一社）次世代センサ協議会、
（一社）横浜港振興協会、（株）IHI、千代田化工建設（株）、東亜建設工業（株）、日揮（株）、
横浜港埠頭（株）、（株）横浜八景島、日本郵船（株）、三菱重工業（株）、古河電気工業（株）、
ジャパン マリンユナイテッド（株）、五洋建設（株）、（株）オーシャンスパイラル、
（株）セア・プラス、
内閣府総合海洋政策推進事務局、関東地方整備局（国土交通省）、関東運輸局（国土交通省）、
横浜市

4 昨年実績

- ・名称：海洋都市横浜うみ博2018
- ・日時：平成30年7月21日（土）・22日（日）の2日間
- ・会場：大さん橋ホール
- ・参加者数：約23,000人
- ・プログラム構成：ブース展示、船舶見学会、ステージプログラム等

昨年の様子



5 お問い合わせ・事前申込方法等

【海洋都市横浜うみ博2019 特設ホームページ】

※船内見学会（自動車専用船・タグボート）の事前申込は次のURLで受付。（申込期間6/3～6/28）
<http://umihaku.jp>

【イベント内容のお問合せ先】

海洋都市横浜うみ博2019 運営事務局 電話：045-663-9151

※取材について

オープニングセレモニーは行いません。会場の様子等、取材を希望される場合は、直接会場にお越しください。

お問合せ先

政策局政策課 担当課長 波多野 陽介 Tel 045-671-4172

海を学べる施設・イベント情報

イベント情報は6月～8月

※営業時間や休業日など各施設のホームページで確認の上お出かけ下さい。施設によっては、入場料が必要になります。

全体MAP



1 三菱みなとみらい技術館

陸、海、空、宇宙の4つのゾーンとその他のコーナーで、ものづくりの技術発展の歴史と最先端技術が遊んで学べるミュージアム。週末には様々なイベントも行っていきます。

2 帆船日本丸 横浜みなと博物館

帆船日本丸は船内を一般公開し、全ての帆をひろげる総帆展覧を年間11回行っています。横浜みなと博物館では柳原良平アートミュージアムもオープン。7/15～9/29横浜みなと博物館開館30周年記念企画展「オドロキ!日本・海の環境と開発～海といつまでも」を開催します。総帆展覧 7/15,8/25

3 日本郵船歴史博物館

ギリシャ風の列柱が特徴的な1936年竣工の横浜郵船ビル1階にあり、時代とともに移り変わる近代日本海運の歩みを日本郵船の社史を通じて紹介。戦前の豪華客船時代のパンフレットや絵葉書、迫力ある船体模型は必見です。

4 日本郵船氷川丸

氷川丸は1930年に横浜で建造され、シアトル航路へ就航した貨客船です。約30年に亘る航海を終えて、1961年に山下公園前へ係留されて以来、横浜港のシンボルとして多くの人々に親しまれてきました。2016年8月には、重要文化財に指定されています。

5 海洋研究開発機構 横浜研究所

地球の環境変動や巨大地震・津波の発生メカニズム解明など、海と地球の研究を行っています。展示施設「地球情報館」や図書館は一般の方にも公開しています。7/15に「海の日特別公開セミナー」を開催予定です。秋には横須賀本部施設一般公開も予定しています。

6 横浜・八景島 シーパラダイス

日本最大級の水族館をはじめ、アトラクションやショッピングモール、レストラン、ホテルなど複合型施設をそなえた1日中楽しめる「海、島、生きもの」のテーマパーク!

7 横浜市立大学 エクステンション講座

「ヨコハマの海と、SDGs ～教育と市民と企業～」横浜市立大学地域貢献センターでは、市民の皆様へ向けた講座を開催しています。詳細や申込についてはHPをご覧ください。

8 東京湾クリーンアップ大作戦

「海や川にゴミを捨てない」「きれいな海を守りたい」そんな願いをこめて、毎年実施しているキャンペーンです。清掃船や消防船など横浜港にいる珍しい船を見ることができます。

9 港湾空港技術研究所

普段見る事ができない実際の研究・実験施設を一般に公開し港湾・空港分野における最先端の研究を紹介。大規模流動地盤総合水路で人工津波の威力・迫力を体感できます。

10 東京海洋大学 「海の日」記念行事

東京海洋大学では一般の方々に海に親しみ・興味を持っていただくとともに、本学の教育研究活動をわかりやすく紹介するために、「海の日」に品川・越中島の両キャンパスで記念行事を開催します。



7/20土
21日
10:00～17:00

THE NIPPON FOUNDATION 海と日本 PROJECT

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

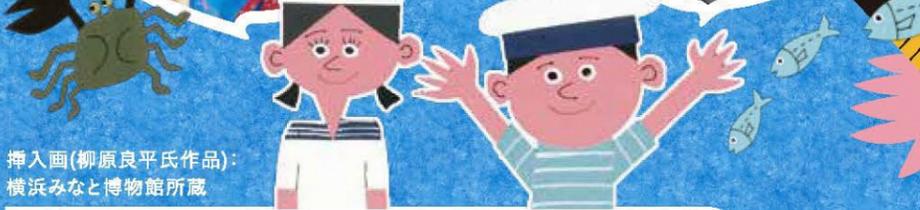
海洋都市横浜

うみ博

2019

入場無料

会場 大さん橋ホール (大さん橋国際客船ターミナル内)



このイベントは、海と日本PROJECTの一環で実施しています。詳しいプログラムは [うみ博2019](#) 検索

主催: 海洋都市横浜うみ協議会
 協議会員: 海洋研究開発機構(JAMSTEC)/水産研究・教育機構/海上・港湾・航空技術研究所(海上技術安全研究所、港湾空港技術研究所)/海技教育機構(JMETS)/帆船日本丸記念財団/横浜国立大学/東京海洋大学/横浜市立大学/神奈川大学/東京大学生産技術研究所/エンジニアリング協会/海洋産業研究会/日本船用工業会/日本プロジェクト産業協議会(JAPIC)/次世代センサ協議会/横浜港協同協会/HH/千代田化工建設/東亜建設工業/日揮/横浜港埠頭/横浜八景島/日本郵船/三菱重工業/古河電気工業/ジャパン マリンユニテッド/五洋建設/オーシャンズパイル/セア・プラス/内閣府総合海洋政策推進事務局/国土交通省関東地方整備局/国土交通省関東運輸局/横浜市 (順不同)

特別協力: 日本財団 協力: ウイングマリタイムサービス/オーシャンネットワークエクスプレス/横浜美術大学

お問い合わせ: うみ博運営事務局 ☎045-663-9151 (平日10:00～17:00) <http://umihaku.jp>

最新情報はWebサイトをチェック <http://umihaku.jp>



うみ博メイン会場情報

会場 大さん橋ホール (大さん橋国際客船ターミナル内)

- みなとみらい線「日本大通り駅」下車 徒歩約7分(3番出口)
- 横浜市営地下鉄/JR「関内駅」下車 徒歩約15分

来場の際は公共交通機関をご利用ください。



乗船体験・見学のご案内 申込期間:6/3日~6/28日

7/20 限定 **べいくりん**
関東地方整備局

事前申込不要

「浮遊ゴミ・油の回収」などで活躍する 清掃兼油回収船を見学しよう!

【観学会】10:00~16:30

7/21 限定 **自動車専用船**
日本郵船(株)

HPで事前にお申込ください。

約7000台の自動車を積載可能な 自動車専用船の船内をのぞいてみよう!

【観学会】10:00~16:30(限定1000名様)

7/21 限定 **タグボート**
(株)ウイングマリタイムサービス

HPで事前にお申込ください。

船を港でサポートする、小さな力持ち タグボート。その実力を体験しよう!

【観学会】10:30/12:30/14:30(各回20名×3回)

海で活躍している
ホンモノの船を
体験しよう!!



展示・体験ブース

海のいろいろな世界を楽しく学べるブースが盛りだくさん!
SDGsについて学べるコンテンツも盛りだくさん!

【出展予定者】JAMSTEC/水産研究・教育機構/海上技術安全研究所/東京海洋大学/横浜市立大学/神奈川大学/海技教育機構(JMETS)/帆船日本丸・横浜みなと博物館/IHI・ジャパンマリンユナイテッド/東亜建設工業/横浜港埠頭/横浜八景島/三菱みなとみらい技術館/古河電気工業/オーシャンスパイラル/五洋建設/横浜港振興協会/関東地方整備局/関東運輸局/横浜市ほか 【前回の様子】▶



うみ博メイン会場案内図



横浜美術大学 アートスペース

12mの巨大な透明板に、ペンで描いたり、カラージュをして、大きな海を完成させよう!空間に絵が浮かんで見えるAR体験もできる!

AR協力:株式会社ソニー・デジタルエンタテインメント・サービス



順風満帆 千石船

神奈川大学が所蔵する近藤和船研究所和船模型コレクションを展示。和船の技術や和船によって生まれた交流を紹介します。



7/20 土



ステージプログラムタイムテーブル

※タイムテーブルは変更になる場合がございます。

10:15▶10:30 シーバラからペンギンがやってきた!
横浜・八景島シーパラダイス

12:20▶12:40 シーバラからペンギンがやってきた!
横浜・八景島シーパラダイス

13:00▶14:00 海の女子会
関東運輸局

14:20▶14:40 海の歌・船乗りの歌を歌おう
帆船日本丸を愛する男声合唱団

15:15▶16:00 ベンチャー企業が挑む!
夢の「海中旅行計画」発表
オーシャンスパイラル

7/21 日



10:15▶10:30 シーバラからペンギンがやってきた!
横浜・八景島シーパラダイス

12:20▶12:40 シーバラからペンギンがやってきた!
横浜・八景島シーパラダイス

13:15▶14:00 海の工事で活躍するロボット技術
東亜建設工業

14:30▶15:30 麦わらストローで明日の海を考える
横浜市立大学・木原生物学研究所

海藻を使って
カラフルなおしぼをつくってみよう!



ワークショップの紹介

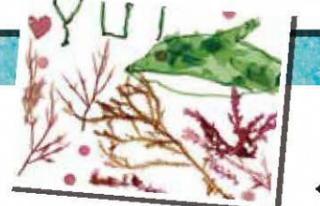
※時間は変更になる場合がございます。

1 7/20 土 顕微鏡で見てみよう!
横浜のうみの小さな生き物・プランクトン
ディスカバーブルー

3 7/21 日 ライフジャケット着用体験
関東運輸局

2 7/21 日 海藻おしぼづくり
海藻おしぼ協会/横浜市温暖化対策統括本部
定員30名(先着)※受付終了12:00

4 7/21 日 水について学ぼう!
神奈川大学



◀海藻おしぼ
作品例

海と日本PROJECTについて



会場でもこのロゴを
見つけてみてね!

子どもたちを中心に海への関心や好奇心を喚起し、海の問題解決に向けたアクションの輪を広げることを目的に日本財団や政府の旗振りのもと、オールジャパンで推進するプロジェクトです。「うみ博」はこの海と日本PROJECTの一環で実施しています。

SDGs(持続可能な開発目標)とは

「海の豊かさを守ろう」など、世界を変えるために国際社会で取り組む17の目標です。



横浜市立学校では、ESD推進に取り組んでいます

昨年度は22校の横浜市立小中高등학교が、ESD(Education for Sustainable Development 持続可能な開発のための教育)推進校として、クラスや学年、学校ごとに見つけた問題について、解決に向けて取り組みました。SDGsの一つ「海の豊かさを守ろう」につながる取組もあり、自分たちで調査をしたり、地域や企業などに相談したりしながら現在も学習を進めています。当日は、ESD推進校の学習成果の中から、海に関連する取組を展示いたします。ぜひご覧ください。



7/21
自動車専用船受付